

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年10月1日 (月)

NO. 897号

本号3頁

沖縄知事選で玉城氏が過去最多得票で勝利、 **辺野古新基地建設を強行する安倍政権に痛打!**

沖縄知事選挙で翁長雄志知事の遺志を継ぎ、名護市辺野古の米軍新基地建設阻止を掲げる「オール沖縄」の玉城デニー候補が過去最多得票の大勝で当選を果たしました。これは、翁長知事の命を削った建設阻止のたたかひの遺志を継ぎ、辺野古新基地建設反対、誇りある豊かな沖縄を実現するために、保革を越えオール沖縄でたたかった沖縄県民の歴史的勝利です。そして、全国各地で沖縄県民とともにたたかって来た全国の市民の勝利です。



この度の知事選挙は、新基地推進の安倍官邸丸抱えの佐喜真候補と軍新基地建設阻止を掲げる「オール沖縄」の新基地建設反対の玉城氏の事実上の一騎打ちでした。自民党・公明党の佐喜真候補陣営は、この間の名護市長選挙、新潟県知事選挙と同様に、論戦を避け、「争点隠し」に徹し、国家権総動員による徹底した企業・団体への締め付けの選挙行動を展開しました。

19日、3回目の南北首脳会談が開催され、 **11月には二回目の米朝首脳会談開催か!**

平壤で金正恩國務委員長と韓国の文在寅大統領の会談が19日行われ、二人は朝鮮半島の非核化に向けたミサイル実験場の永久的廃棄などを盛り込んだ「9月平壤共同宣言」に署名しました。同行した国防担当相が署名した「軍事分野合意書」では南北間の敵対行為の中止、軍事的緊張緩和の具体的な方策が盛り込まれました。今回の合意文書は、休戦状態だった朝鮮戦争の実質的な終戦宣言とも受け取れる内容となっています。

共同宣言は、「朝鮮半島を核兵器と核脅威がない平和の地にしていくべきであり、このために必要な実質的な進展を速やかに成し遂げるべきだ」ということで認識を共にした」と、両首脳は朝鮮半島の非核化に向けた意志を示しています。さらに、共同宣言の中で、北朝鮮側は「東倉里エンジン実験場とミサイル発射台を関係国の専門家の立ち会いの下にまず永久的に廃棄する」とし、米国が6月の米朝共同声明の精神に沿って相応の措置を取るならば「寧辺核施設の永久的廃棄のような追加的措置」を取るとも表明しました。

文氏「北が平和への道を進み続けられるよう導いてやるべきだ」と訴える!

韓国の文大統領は26日午後、国連総会で一般討論演説を行い、北朝鮮が平和を選択すべきというわれわれの願いに応えたとしながら、「今度は国際社会が北の新たな選択と努力に応える番だ」と述べました。米国をはじめとする国際社会に向け、「金國務委員長の非核化に向けた決断を正しく認め、北が恒久的で堅固な平和への道を進み続けられるよう導いてやるべきだ」と訴えました。

一方で、安倍首相は1年前と真逆の演説

25日には、ニューヨークで日朝首脳会談が開催されました。文氏は、北朝鮮の金委員長が今月の南北会談で、「適切な時期に日本と対話し、関係改善を模索する用意がある」との首相宛ての伝言を託していたと述べました。それに対して、安倍首相は「北朝鮮との相互不信の殻を破り、金氏と直接向き合う用意がある」と意欲を示しました。一般演説でも同様の発言を行いました。1年前は北朝鮮を激しく非難する演説を行い、「圧力」を繰り返しました。安倍首相は1年前のことなど覚えていないのでしょうか。しかし、安倍首相の意欲にそぐわず、北朝鮮は公式メディアで日本を非難し続けており、距離は縮まっていないのが実情です。



空席が話題の安倍演説

その一方で、防衛省は海上自衛隊の潜水艦を南シナ海へ極秘派遣し、東南アジア周辺を長期航海中の護衛艦の部隊と合流させて、13日に対潜水艦戦を想定した訓練を実施しました。中国が軍事拠点化を進める南シナ海に潜水艦を派遣して実施したのは初めてです。米国が行っている「航行の自由」作戦と連動するものであり、中国を牽制する狙いがあるとみられます。安倍首相は国連の演説では「対話」の方向を示しながら、一方では「自衛隊を地球の裏側まで派遣し、米軍の軍事行動の一環を担う」との軍事的動きを強めています。

やはり国民は臨時国会への改憲案提出に反対です！

安倍首相は臨時国会へ自民党の改憲案を提出しようとしています。しかし、多くの国民が反対を表明しています。日経新聞（9月21～23日調査）では「自民党の憲法改正案を秋の臨時国会に提出する考え」について、「提出を急ぐべきではない」が68%を示しています。

朝日、読売、日経の世論調査の一部ですが、紹介します。

1) 朝日新聞 9月8・9日調査

◆安倍内閣を支持しますか。

支持する 41 (38) 支持しない 38(41) その他・答えない 21(21)

◆安倍首相は、自衛隊の明記などを盛り込んだ自民党の憲法改正案について、次の国会への提出をめざす考えを示しました。あなたは、次の国会への提出に賛成ですか。反対ですか。

賛成 32 反対 49 その他・答えない 19

◆あなたは、森友学園をめぐる国有地の売却問題や、加計学園の獣医学部新設の問題について、安倍首相のこれまでの説明に納得していますか。納得していませんか。

納得している 14 納得していない 76 その他・答えない 10

※国民は森友・加計疑惑に8割近い方が納得していません！

2) 読売新聞社 9月21～23日調査

安倍内閣の支持率は50%で、前回8月の50%から横ばい。不支持率は41%（前回40%）。そして、「安倍首相は、自民党の憲法改正案を今年秋の臨時国会に示したい考えだ。この考えに」、「反対」は51%で、「賛成」36%を上回った。

3) 日経新聞 9月21～23日調査

安倍首相は自民党の憲法改正案を秋の臨時国会に提出する考えを示しました。あなたは自民党の憲法改正案を秋の臨時国会に提出すべきだと思いますか、思いませんか。

提出すべきだ 24 (17) 提出を急ぐべきではない 68(73) どちらともいえない 3(2)

いわない・わからない 6(7)

憲法会議代表委員「浜林正夫さんを偲ぶつどい」開催

憲法会議代表委員の浜林正夫先生（一橋大学名誉教授）が、本年5月、永眠されました。浜林先生は、憲法会議の代表委員とともに、全国革新懇代表世話人や日本科学者会議代表幹事、労働者教育協会副会長などを歴任され、平和と民主主義を守る運動など幅広く活躍されました。また、お住まいの埼玉・所沢地域の運動にも、40年にわたり積極的に参加されました。

その所沢地域の皆さんが中心となり、全国革新懇、労働者教育協会、そして憲法会議などの全国組織も加わり実行委員会を結成し、「浜林正夫さんを偲ぶつどい」を9月26日（水）午後、所沢・ミュージズ小ホールで開催しました。

偲ぶつどいはフルート演奏から始まり、所沢革新懇代表世話人の安東彰義氏より開会のあいさつ後、参加者全員で黙とうしました。

「追悼のことば」を小樽商科大学のゼミの教え子だった佐々木憲昭元議員が行いました。佐々木氏は浜林先生の生い立ちに紹介するとともに、「私が商科大学の学生の頃から、いつも優しい笑顔で暖かく見守り導いてくださるとても大きな存在でした。小樽では『浜さん』と親しみを込めて呼ばれていました」と小樽時代のこと、そして同じ所沢での活動について語り、「どうか安らかに眠りください。革新の運動は引き継ぎますから」と述べられました。

その後、浜林先生の所沢での街宣などでのスピーチが上映され、次に10名の方が「思い出」を語られました。その中には、革新懇の役員として10年一緒だった日本共産党の市田忠義参院議員も。また、同じマンションに住む宮田正雄さんは「浜林先生はカラオケが大好きで、一番に駆けつけ、得意な琵琶湖周航の歌を歌っていた」等と、日ごろの浜林先生について紹介されました。そしてスピーチされた皆さんが「研究と実践を一体にたたかった方」「所沢で40年地域の人々と熱心に活動された」等と語られました。



ご遺族からのメッセージも紹介され、最後に参加者全員で「琵琶湖周航の歌」「千の風になって」を合唱しました。

憲法会議では川村俊夫代表幹事が「偲ぶつどい」の呼びかけ人となり、実行委員として事務局長の高橋が参加しました。

各地のとらえかみ

愛知・名古屋 南区で3000万人署名リスタート集会を開催

名古屋市南区で22日、「安倍改憲NO！南区市民アクション」が「3000万人署名リスタート集会」を開き、会場いっぱいの58人が参加しました。11月3日に矢場公園（名古屋市中区）で開かれる県民大集会の成功と、3000万人署名の目標達成をめざして行われました。

主催者は「安倍首相が10月に開かれる予定の臨時国会へ、9条改憲の自民党案提出を狙っている。しかし世論の51%は反対で賛成は38%。必ず発議を阻止しよう」とあいさつしました。

愛知市民の会の高橋信さんが愛知県内の行動予定や韓国の民主主義を守るたたかいを報告。「命どう宝」と新城正男さんが、大激戦の沖縄知事選について「日本の未来のために、沖縄県民のために、絶対負けられない選挙。力を貸してほしい」と訴えました。

沖縄県知事選挙支援のカンパが呼びかけられ、参加者から5万1千円以上が寄せられました。

参加者から13人が発言。キリスト教社会館の小早川弘江さんは、「11月3日の県民大会にむけ3000万人署名を必ず成功させよう」と話しました。

鳥取 市民と3野党の合同街頭アピール

鳥取市のJR鳥取駅北口で22日、市民と3野党の合同街頭アピールが行われました。

「住民の声で鳥取市政をつくる会」の井上眞澄さんは「軍事力ではなく密接な経済関係が抑止力になる。安倍首相に憲法9条を変えさせてはならない」と訴えました。

日本共産党の福住ひでゆき参院選挙区候補は、沖縄県知事選で玉城デニー候補を勝利させ、参院選で市民と野党の共闘勝利で自公を少数に追い込み、憲法改悪を阻止しようと呼びかけました。

社民党県連合の米村正一幹事長は、アベノミクスのもとで大企業は内部留保を増やし、空前の利益をあげているが、国民の暮らしは疲弊していると指摘。新社会党県本部の中宇地節雄書記長は、自民党の総裁選にふれ、安倍首相が正直でも公正でもない自民党自身が認めたことになる」と述べました。